



防災を考える授業は、偶然にも、夜遅くに町内で震度3～4の地震があった翌々日でした。本当に多くの保護者のみなさまが集まってくださり、学年を解いて、地区ごとのグループに分かれて行いました。

まず、6年生が防災学習で学んできたことをもとに、もし災害が起きたら、それぞれの地区でどのように行動すればよいかを提案しました。さらに、地域の避難所に向かうとして、何を持っていくか、家族やご近所の方といっしょに考えました。まとめには、PTA健康安全部の方々、学校防災アドバイザーさん、宮崎地区の防災士さん、越前町役場防災安全課の方からのコメントをいただきました。

6年生が時間をかけて準備した提案に、大人も子どもも真剣に耳を傾け、熱心に話し合う姿から、災害への危機感をもち、備えることの必要性を感じてくださっていることが伝わってきました。と同時に、子どもの声が、大人や社会を動かす可能性を感じました。地域の防災は、子どもたちが今後も探究し、家庭や地域のみなさまと共に考えていきたい、価値あるテーマになると思います。

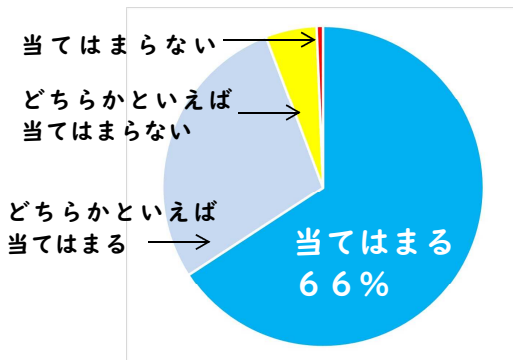
学校教育目標「自ら学ぶ 共につくる」に向けて

1 主体的な学びづくり 2 創造的な学びづくり 3 成長を支える環境づくり

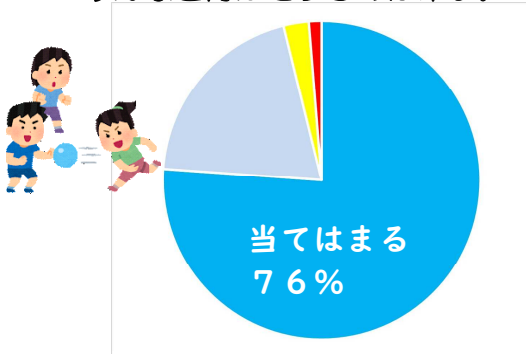
の三つを柱に教育活動に取り組んでいます。今回は2学期のアンケート結果をお知らせします。これを職員で分析して「年間まとめ」を作成し、学校関係者評価委員のみなさまのご意見をうかがいます。

児童はそれぞれの質問に「当てはまる」「どちらかという当てはまる」「どちらかという当てはまらない」「当てはまらない」の4つの選択肢から選んで答えています。

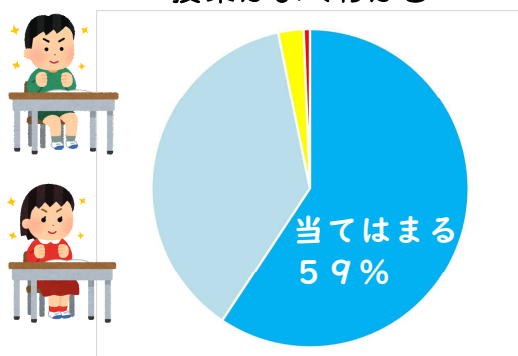
学校が楽しい



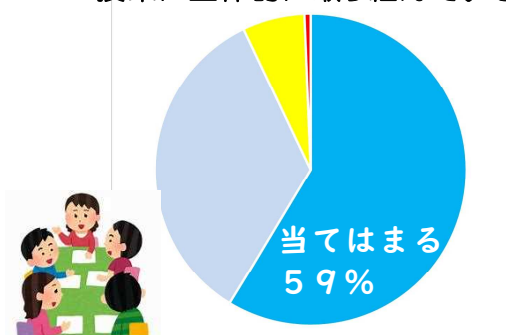
みんなと何かをするのは楽しい



授業がよくわかる



授業に主体的に取り組んでいる



◎特別な行事で学校生活を盛り上げるのではなく、毎日の生活の中で、児童が主体となって学習や活動ができるよう取り組んできました。

○「によきによき宮崎っ子プロジェクト」による委員会活動が充実し、児童のアイディアによる活動が続きました。あいさつやそうじの課題を解決しようと、全校児童が話し合い、改善に向けて取り組みました。

○地域に出て体験したり、地域の方と直接かかわったりしたこと、複数の教科を関連付け、学んだことを発信するなど、目的を明確にして、児童の学びに向かう力を高めようとしてしました。

○「心のお天気しらべ」アンケートなどで、児童の気持ちを受け止め、丁寧な教育相談活動を行いました。

このような取組の成果と思われます

「学校が楽しい」「みんなと何かをするのは楽しい」に「当てはまる」と答えた児童は、目標値の60%を上回りました。

「授業がよくわかる」「授業に主体的に取り組んでいる」に「当てはまる」と答えた児童は、惜しくも目標値の60%に届きませんでした。ほぼ目標値といえる結果でした。

課題として取り組みます

子どもたちに付けたい力を明確にして、試行錯誤しながら学ぶ過程を大切に育てていきます。その価値が自覚できるように、しっかりと振り返って、自信につなげます。

たてわり活動を充実させたり、ふるさと学習のカリキュラムを作ったりして、多様なかわりの中で、子どもたちの学びを深めていけるよう取り組みます。